

令和6年度県立高等学校入学者選抜学力検査 社 会

■ねらい、出題の内容

1 地理的分野の問題

【ねらい】アジア州とヨーロッパ州を題材に、世界の地理的事象における基礎的・基本的な知識の理解や定着をみるとともに、地図、表、グラフ等様々な資料から有用な情報を適切に選択して活用する技能および思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 日本の地理的位置等の視点に着目して、日本の位置に関する知識をもとに緯度について思考、判断する問題。(2) 都市の位置や気候帯の分布等の視点に着目して、雨温図から読み取った情報をもとに都市と雨温図の組み合わせについて思考、判断する問題。(3) 人間と自然環境との相互依存関係等の視点に着目して、自然環境や農作物、食文化等の知識をもとに各国の米と小麦の生産量について思考、判断する問題。(4) 宗教の分布や地域の特徴等の視点に着目して、信者数の割合から宗教についての知識を問う問題。(5) ①空間的相互依存作用等の視点に着目して、日本と各国の貿易額や品目をもとに中国について思考、判断する問題。(5) ②一般的共通性と地方特殊性等の視点に着目して、中国の人口に関する政策が中国の人口動態に与えた影響について思考、判断して表現する問題。

2 地理的分野の問題

【ねらい】東北地方と北海道地方を題材に、日本の地理的諸事象における基礎的・基本的な知識の理解や定着をみるとともに、地図、グラフ、表等の諸資料から情報を読み取る技能や読み取った情報を根拠として、思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 海峡の位置等の視点に着目して、津軽海峡についての知識を問う問題。(2) 北海道釧路市の位置や人間と自然環境との相互依存関係等の視点に着目して、北海道地方の自然環境について思考、判断する問題。(3) 東北地方の特殊性等の視点に着目して、都市の位置や都市の名称、伝統行事や産業等の特色の適当な組み合わせについて思考、判断する問題。(4) ①土器がつくられた時期等の視点に着目して、土器の表面の特徴や遺跡に関する説明文をもとに縄文についての知識を問う問題。(4) ②地形図範囲内の場所等の視点に着目して、青森西部の新旧地形図を題材に、地形図読図に関する基礎的な技能と土地開発の推移等について適切に地図情報を読み取り、判断する問題。(5) ①北海道地方の場所や人間と自然環境との相互依存関係等の視点に着目して、北海道地方の稲作において自然環境を克服してきた歴史やその特徴についての知識を問う問題。(5) ②東北地方と北海道地方の地域や人間と自然環境との相互印関係等の視点に着目して、東北地方と北海道地方の農業に関する土地利用の違いについて、複数の統計地図から情報を読み取り、思考、判断して表現する問題。

3 歴史的分野の問題

【ねらい】古代から近世の歴史について、法令などに関する年表をもとに歴史の概観について基礎的知識の理解や定着をみるとともに、日本の政治や文化について時代背景と関連させながら、思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 古代日本の国づくりについて時期や推移等の視点に着目して、聖徳太子の政治に関する知識を問う問題。(2) 大宝律令が制定された時期や事象相互のつながり等の視点に着目して、古代日本における律令国家の成立や民衆への影響についての知識を問う問題。(3) 平安時代の推移や諸事象のつながり等の視点に着目して、諸資料を通して藤原道長について知識を問う問題。(4) 4つの法令の内容の比較等の視点に着目して、鎌倉時代の将軍と御家人の主従関係に基づく法令について思考、判断する問題。(5) 年代や推移等の視点に着目して豊臣秀吉が行った政策について思考、判断する問題。(6) 事象相互のつながり等の視点に着目して、アヘン戦争の内容とアヘン戦争の結果が日本に与えた影響について思考、判断して表現する問題。

4 歴史的分野の問題

【ねらい】近代以降の歴史について、祝日を題材にして日本の近現代の政治や外交に関するできごとを中心とした基礎的知識の理解や定着をみるとともに、日本と世界の国々とを関連付けながら資料を読み取る技能および読み取った情報や習得した知識等を活用した思考力、判断力、表現力等の力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 明治政府の樹立の時期や推移等の視点に着目して、王政復古の大号令についての知識を問う問題。(2) 資料をもとに出版された時期や事象相互のつながり等の視点に着目して、福沢諭吉と吉野作造の思想について思考、判断する問題。(3) 日本の学校教育の推移や相互事象のつながり等の視点に着目して、日本の学校教育に関わる政策や内容をも

とに思考、判断して並び替える問題。(4) ①風刺画から読み取った情報をもとにフランス革命に関する推移等の視点に着目して、革命が起きた背景についての知識を問う問題。(4) ②三・一独立運動の推移等の視点に着目して、このできごとが起きた時期についての知識を問う問題。(5) 複数の資料の読み取りを通して、できごとの推移や相互事象のつながり等の視点に着目して、満州国についての知識を問う問題。(6) 戦前と戦後、大日本帝国憲法と日本国憲法の比較や現在とのつながり等の視点に着目して、戦後日本の国民主権と国民主権に基づいた立法のしくみに関して思考、判断して表現する問題。

5 公民的分野の問題

【ねらい】「グローバル化が私たちの生活に与える影響」をテーマにした授業中の対話文をもとに、経済分野を中心とした基礎的知識の理解や定着をみるとともに、契約、物価の変動、グローバル化の影響、政府の役割や税制等について思考、判断する力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 選択や合意等の視点に着目して、日常にみられる契約についての知識を問う問題。(2) 選択や配分等の視点に着目して、インフレーションについての知識を問う問題。(3) 利便性と安全性、持続可能性、国際協調等の視点に着目して、日本のエネルギー供給の推移について、資料から必要な情報を読み取る技能とエネルギー供給に影響を与えたできごとを関連付けて思考、判断して並び替える問題。(4) 効率と公正の視点等に着目して、日本政府の財政政策と日本銀行の金融政策における不景気の時期に行われる政策についての知識を問う問題。(5) 財源の確保と配分等の視点に着目して、日本の税制における消費税の逆進性について、知識をもとに表現する力を問う問題。(6) 国際協調等の視点に着目して、グローバル化の進展が進むなか、日本が経済的な結びつきを強めるための経済連携協定についての知識を問う問題。

6 公民的分野の問題

【ねらい】「現代日本の諸課題」をテーマに、人権の保障、積極的な政治参加、持続可能な社会の実現に向けて等の課題についての基礎的知識の理解や定着をみるとともに、資料をもとに思考、判断して表現する力をみることをねらいとしています。

【出題の内容】(1) 自由と権利等の視点に着目して、個人の尊重についての知識を問う問題。(2) 個人の尊重や法の支配等の視点に着目して、日本の違憲審査制についての知識を問う問題。(3) 民主主義等の視点に着目して、日本の選挙制度に関する内容の正誤について思考、判断する問題。(4) 民主主義等の視点に着目して、国と地方公共団体の種類と役割分担について、表から必要な情報を読み取る技能と知識について問う問題。(5) 国際協調や持続可能性等の視点に着目して国際社会において、公正な貿易の推進に関する知識について問う問題。(6) 持続可能性、自由・権利と責任・義務等の視点に着目して持続可能な社会の実現に向けて、課題解決に向けた主張の根拠について、資料から必要な情報を読み取る技能と思考、判断して表現する力を問う問題。

■今後の学習指導のために

各大問とも、設定された課題やテーマを軸に、基礎的な知識に基づき、資料から情報を読み取りまとめる技能や資料を活用しながら思考、判断する力や読み取ったことをもとに表現する力をみることを大きなねらいとしています。このことは、学習指導要領において、学習した知識や技能を有機的に結びつけ、社会的な課題に対処し、解決していく力を育むことを重視していることによるところが大きいからです。そのためにも、生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせることができる学習活動が位置付けられた授業の推進が求められます。また、生徒の「主体的・対話的で深い学び」につながる、単元を通したねらいを設定した学習活動や明確な評価規準を設定した学習指導を行う中で、基礎的な知識の定着や情報を収集する、情報を読み取る、情報をまとめる技能の確実な習得を図るとともに、資料を活用した思考、判断、表現する活動を一層充実させることが大切です。

■まとめ

上記のとおり社会科の学習指導では、身に付けた知識および技能を、社会的事象に対する課題の解決に向けて活用したり、応用したりする力を育むことが求められています。このことを受け、これまでと同様、全分野において資料を活用して思考、判断、表現することを求める問題を設定しています。地理的分野では、基礎的な知識の確実な習得と様々な資料の活用能力を重視し、地図や統計資料の活用をはじめ、諸資料をもとに世界や日本の地域的な特徴等について思考、判断、表現する設問を取り入れました。歴史的分野では、知識の確実な習得を図る問題や日本の歴史と世界の歴史とを関連付けた問題、過去と現在を結びつけるような資料および多面的・多角的な見方ができる資料を用いて歴史を概観する設問を取り入れました。また、公民的分野では、生活に身近な事例を取り上げながら、経済分野においては契約、物価の変動、財政政策と金融政策、日本の税制等について、政治分野においては人権の保障、積極的な政治参加、持続可能な社会の実現に関する基礎的な知識と、現実の社会的事象をもとに資料を正しく読み取る技能と思考、判断して表現する設問を取り入れました。